

Harmony among People,
Technology, and Environment.



株主の皆様へ

第86期 営業のご報告

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

CONTENTS

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

トップメッセージ



取締役社長

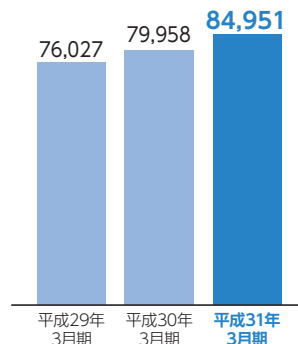
澁谷 信雄

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

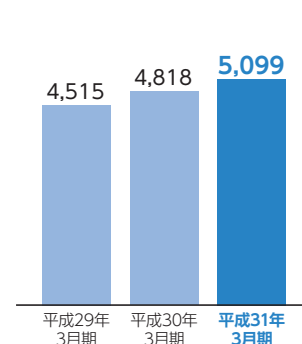
当社グループの第86期（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

連結財務ハイライト

売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



平成31年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調がみられたものの、年度末にかけて米中通商問題による世界経済の減速が懸念されるなど、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は849億51百万円(前期比6.2%増加)、営業利益は50億99百万円(前期比5.8%増加)、経常利益は57億78百万円(前期比7.2%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は34億91百万円(前期比7.7%増加)となりました。

次期の見通しと今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、緩やかな回復基調が続くことが期待されておりますが、国際情勢の不安定さが増すなかで、

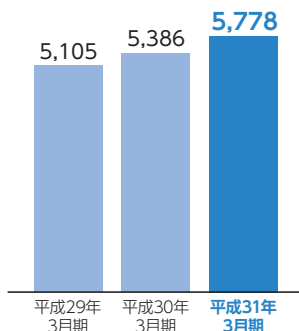
景気の下振れリスクも依然として高く、国内景気への影響が懸念される不透明な状況が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「チェンジ&チャレンジ'20」を推進するとともに、人材育成による経営基盤の強化、内部統制体制の充実をはかり、企業価値の向上に努めてまいります。

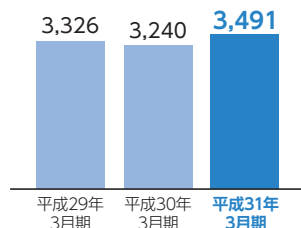
ガス事業は、当社グループとの連携を一層深めながら、地域に密着した営業展開によりシリンダーガスビジネスのさらなる収益力の強化をはかるため、事業場の新設や統合、グループ全体の物流の合理化を進めてまいります。また、新たな事業展開を目指し、積極的なM&A、真空浸炭向け溶解アセチレンの新規需要先の獲得、食品、溶接等多岐にわたるユーザーの開拓、農業用炭酸ガスの普及に努めてまいります。土浦研究所では、ガスの新たな用途の開発、システムの開発・改良等による製品の差別化と付加価値を高める研究を続けてまいります。

化成品事業は、IT化による原料・製品在庫の最適化、容器管理、物流の合理化を行ない、収益力の強化と安定供給の確保をはかるとともに、品質面では、研究開発、営業開

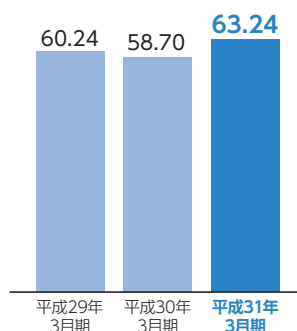
経常利益 (単位:百万円)



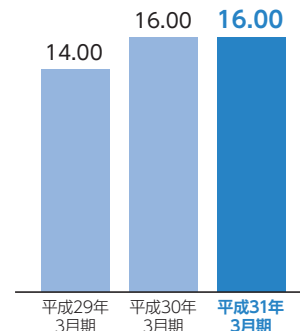
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



発に力を入れ、環境にやさしい製品の提供に努めてまいります。国内接着剤市場においては、住宅設備・資材、自動車、弱電、医療分野へ積極的に新製品を投入し、新たな用途を創出してまいります。また、雨音、振動を低減させる効果のある制振材「サウンドプルーフ」を公共の建物をはじめ、遮音性が求められるイベントホール等向けに建材用途として拡販してまいります。塗料市場においては、省エネ・環境改善を目的とした遮熱塗料の差別化を進めるとともに、既存住宅の改修需要に対応した、外壁サイディングボード用の「WBアートSi」・「ウォールバリアシリーズ」・「ビーズコート」をさらに拡販してまいります。海外市場においては、ベトナム工場を製造・営業の拠点として活用し、中国・東南アジアへの市場開拓を進めてまいります。

その他事業は、ITソリューション事業部門において、鉄道業界、産業機器業界を主な営業対象とし、電子ペーパーとRFタグを融合した「ディスプレイタグ」、無線機能を搭載したLSIカード及び画像記録装置をシステムとあわせて拡販してまいります。また、半導体向け特殊容器を中国、東南アジア等に拡販してまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高900億円、営業利益58億円、経常利益62億円、親会社株主に帰属する当期純利益37億円を予想しております。

令和2年3月期 連結業績予想 (カッコ内は当期比)

売上高	900億円	(5.9%)
営業利益	58億円	(13.7%)
経常利益	62億円	(7.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	37億円	(5.9%)

株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかることを基本方針とし、経営成績・財務状況・今後の事業展開などを総合的に勘案し決定しております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当金8円とさせていただきます。

平成30年12月10日に1株につき金8円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計16円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

株主の皆様へ

当社グループといたしましては、引き続き「安全」・「安心」をすべての基本姿勢として、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、社員一人ひとりが活躍できる組織体制の整備に努めながら、中長期ビジョンの実現を目指してまいります。

また、企業理念、企業倫理行動指針に基づいたコーポレート・ガバナンス体制の整備と強化に真摯に取り組んでまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

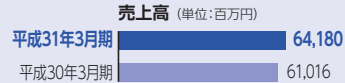
令和元年6月

事業別の概況



ガス事業

売上高 **641億80** 百万円
営業利益 **50億1** 百万円



ガス事業ではシリンダーガスビジネスの収益力強化のため、積極的な投資を行ない、生産体制の合理化や物流面における効率化などを進め、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、建設、土木など現場工事向け及び造船向けの需要が減少したものの、真空浸炭炉向けの需要が増加し、また、価格改定の効果もあり、売上高は前期並みとなりました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、炭酸ガスがそれぞれ半導体、溶接、食品向けに新規需要先の獲得及び既存需要先の回復により増加しました。また、LPガス等の石油系ガスは輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇と需要先の獲得による販売数量の増加により、売上高は前期を上回りました。

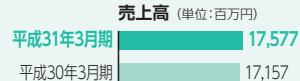
『溶接溶断関連機器』は、溶接ロボット、工作機械等の需要増や設備工事の受注があり、売上高は前期を上回りました。『容器』は、半導体向け特殊容器などが増加し、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は641億80百万円(前期比5.1%増加)となりました。営業利益は、50億1百万円(前期比2.9%増加)となりました。



化成品事業

売上高 **175億77** 百万円
営業利益 **11億11** 百万円



化成品事業では新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品やユーザーニーズに合った付加価値の高い製品の開発を行ない、国内はもとより欧米、中国、東南アジア地域において、新規需要先の開拓に努めてまいりました。

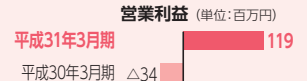
『接着剤』は、ペガールが、粘着用が需要低迷により減少したものの、紙用、塗料用、土木用、ベトナムでの木工用の需要が増加し、シアノンが、海外向け汎用品の需要伸長により、また、ペガロックが国内、海外とも新規需要先の獲得により増加し、売上高は前期を上回りました。『塗料』は、天候不順等による改修工事の遅れなどがあったものの、建築用塗料が新製品の上市により増加し、また、エアゾール製品が需要を伸ばしたことにより、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は175億77百万円(前期比2.4%増加)となりました。営業利益は、11億11百万円(前期比10.0%減少)となりました。



その他事業

売上高 **31億93** 百万円
営業利益 **1億19** 百万円



その他事業は、LSIカードが、国内、海外の需要回復により、電子ペーパーとRFタグを融合した「ディスプレイタグ」が新規需要先の獲得により増加し、また、当連結会計年度から食品添加物を扱う子会社が連結対象になったことにより、売上高は31億93百万円(前期比78.9%増加)、営業利益は、1億19百万円(前期は34百万円の営業損失)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	第85期 (平成30年3月31日現在)	第86期 (平成31年3月31日現在)	増減額
流動資産	47,774	51,021	3,247
固定資産	36,556	37,071	515
流動負債	24,756	25,619	862
固定負債	4,548	5,441	893
純資産	55,024	57,031	2,006
総資産	84,330	88,092	3,762

(注) 第86期期首より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」を適用しており、第85期については遡及処理後の値を記載しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位:百万円)

	第85期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第86期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	6,538	5,992	△546
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,687	△3,264	△577
財務活動による キャッシュ・フロー	△853	△1,025	△172
現金及び現金同等物 の期末残高	19,176	20,925	1,748

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第85期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第86期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	増減額
売上高	79,958	84,951	4,993
営業利益	4,818	5,099	281
経常利益	5,386	5,778	391
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,240	3,491	250
1株当たり当期純利益	58円70銭	63円24銭	4円54銭

期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金8円となりました。

期末配当金 1株につき金8円 総額441,637,128円

支払開始日 令和元年6月27日

会社情報

会社概要 (平成31年3月31日現在)

商号	高圧ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	855名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	21カ所
出張所	6カ所
工場	14カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)

役員 (令和元年6月26日現在)

取締役

代表取締役 取締役会長	竹内 弘幸		
代表取締役 取締役社長	澁谷 信雄		
専務取締役	説田 和洋	黒木 幹也	
常務取締役	杉岡 孝雄		
取締役	森本 孝	森田 和博	池田 佳弘
	吉高 紳介*	笹野 哲郎*	山村 忠夫*
	※社外取締役		

監査役

常勤監査役	松井 良祐		
監査役	狩野 仁*	山崎 勇*	長島 広明*
	※社外監査役		

執行役員

常務執行役員	谷屋 五郎	福井 正郎	
執行役員	大北 隆行	荒木 淳支	片岡 一夫
	平田 恭清	玉野 光樹	磯田 光功
	野杵 達也	津崎 幸一	

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (平成31年3月31日現在)

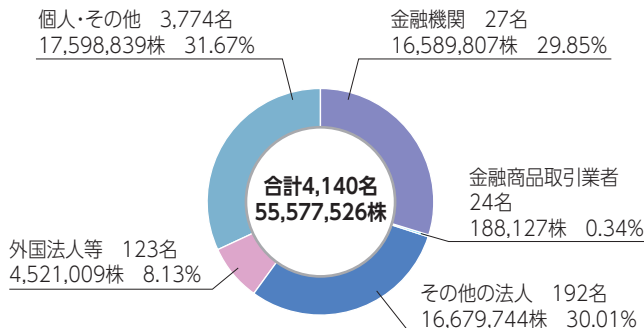
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	4,140名(前期末比110名減少)

大株主 (平成31年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
デンカ株式会社	6,906	12.51
こうあつ共栄会	6,849	12.40
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
太陽日酸株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
高圧ガス社員持株会	1,610	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,397	2.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,225	2.22
北陸工業瓦斯株式会社	886	1.60

(注) 持株比率は、自己株式(372,885株)を控除して算出しています。

所有者別株式分布状況 (平成31年3月31日現在)



株主メモ

事業年度末日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
上場証券取引所 東京市場第1部
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人 〒100-0005
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<http://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。ぜひご覧ください。

<http://www.koatsugas.co.jp/>

高圧ガス工業



高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)
電話 06 (7711) 2570 (代表)
<http://www.koatsugas.co.jp/>

